



三星の風

第82号

平成 27年

1月 22日

鹿児島県立
鹿屋高等学校

祈合格！ 六七期生

センター試験 二六九名受験

平成二七年度大学入試センター試験が一月七日・八日の二日間、国立大学法人鹿屋体育大学で実施され、本校からは二六九名が受験しました。

新教育課程実施や、過去に起きたトラブルを回避するための措置により、鹿児島市地区の高校では、生徒達が県内9会場に分散して受験しなければならぬというこれまでになく、対応が必要となった今回の試験でしたが、幸いにも本校生は、鹿屋体育大学にて全員が受験できました。

鹿屋体育大学の食堂を生徒・引率者の控え室として使わせてもらえます。
センター試験につきものと言えば『雪』！
荒天の場合も安心です。本当に助かります。



年が明け、鹿屋保健所管内でインフルエンザが流行するなど、心配されましたが、一日目は風が強かったものの両日とも天候に恵まれ、体調を崩す者もなく、二六九名全員が全日程を無事終えることができました。

翌一九日の自己採点結果をふまえ、データを参考にしながら三者面談で志望校を決定し、前期・中期・後期日程の順で国公立大学を受験することになります。

これまで学校行事のたびにを見せてくれた六七期生の団結力と底力で、乗り切ってください。ことを期待したいと思います。



入室前の一コマ。担任の先生方から力をもらった後、クラス全員が一人一人握手し合い、お互いの健闘を祈りながら、全力で戦うことを誓い合うシーンでした。

応援しています

一月八日（木）、三年生の健闘を祈って、一・二年生による激励会がありました。生徒を代表して生徒会長新名主優子さんが激励の言葉を贈った後、二年生応援団によるエールが送られました。



「最後まで、我々に憧れさせてください。最後まで諦めず、団結して立ち向かう、我々のあこがれであり、誇りの、先輩方の姿を見せてください。」

(生徒会長 新名主優子さんの激励の言葉から一部抜粋)

恒例となった書道部のみなさんによる激励！今年も大作揃いでした。三月まで設置しています。



2学期クラスマッチの結果

12月12日(金)にクラスマッチ(1・2年)が実施されました。

各種目の優勝と総合成績上位のクラスを紹介します。

【総合順位】

優勝 2年2組 準優勝 2年5組 3位 2年6組

【各種目の優勝クラス】

- バレーボール (女子) 1年5組
- バスケットボール (男子) 1年3組
- サッカー (男子) 2年1組 (女子) 2年6組
- ソフトボール (男子) 2年5組 (女子) 2年2組
- ソフトテニス (男子) 1年6組A (女子) 2年2組

快挙!
卓球部 一年
田中沙季さん
(吾平中出身)
田中さんは三月二十五日から香川県で行われる第42回全国高校選抜大会に出場します。活躍をお祈りします。

こちら編集局
受け付けは096(366)1313 午後1時~3時(日・祝除く)

通り掛かりの高校生 介抱してくれて感謝
うれしくて涙が出るような出来事がありました。心臓に持病があり、菊池市中心部の病院で受診して帰る途中、バス停まで歩いていたら胸が苦しくてしゃがみ込んでしまったんです。すると、通り掛かった女子高校生2人が、「私が持っていた薬を掛けてくれ、私が持っている薬を取り出してくれたり、体をさすってくれたりしたので楽になりました。その後バス停まで手を引いてくれて、無事に帰宅することができました。2人はボートの大会で菊池に来ていた鹿児島の高校生のようでした。名前も聞かず、お礼をしつかり言えなかったのが心残りです。2人には「これからもボートを頑張ってください」と伝えたいです。菊池市、主婦 82



【編集後記】
ちよつといい話がありました。昨年十一月十二日(水)、熊本日々新聞の7面に、左の記事が載りました。九州大会に出場したボート部の二人の生徒による、遠征先である熊本県菊池市での善行を取り上げたものです。新聞を取り寄せるのに時間がかかってしまいましたので紹介が遅れてしまいました。三星健児よ、今後も大いに徳を磨け!

保護者アンケートの集計結果

- 目的 学校活性化に向けた改善に資するため
- 実施時期 平成26年11月7日(金)~11月13日(木)
- 調査対象 1・2年生の保護者
- 調査方法 抽出(各学年2クラス 計4クラス 143名)
- 回答率 100%
- 評価基準

4	→よく当てはまる
3	→やや当てはまる
2	→あまり当てはまらない
1	→全く当てはまらない
- 評価 <平均評価点>

No.	評価項目	本年度	昨年度
1	学校の教育方針の理解	3.41	3.29
2	授業や学習指導の熱心度	3.57	3.53
3	授業や課外の時間確保	3.65	3.60
4	学力向上の積極的な取組	3.39	3.41
5	進路実現への適切な指導	3.17	3.09
6	基本的な生活習慣指導の確立	3.13	3.18
7	交通安全・マナー指導の徹底	3.04	3.10
8	教育相談や面談への親身な対応	3.30	3.26
9	ボランティア活動への奨励	2.74	2.67
10	保健・健康・生命尊重への指導	3.07	2.96
11	行き届いた校内美化の推進	3.24	3.16
12	校内の様子の積極的な情報発信	2.91	3.00
13	子どもの本校入学への満足度	3.32	3.40
14	学校からの配付物の確認	3.05	3.21

【考察】
今年「9 ボランティア活動への奨励」、「12 校内の様子の積極的な情報発信」に課題が残る結果となりました。「14 学校からの配付物の確認」は、昨年度から設定しましたが、学校からの資料等は、生徒便で概ね配付されているようです。平均評価点が4に近づくよう今後も努力していきたいと思えます。御協力いただいた保護者の皆様に感謝いたします。

教職員による自己評価の集計結果

- 実施日 平成26年11月上旬
- 回答者数 54名
- 評価基準

4	→十分に達成	3	→おおむね達成
2	→やや不十分	1	→不十分
- 評価点平均

No.	評価項目	評価点	前年比(増減)
1	教育目標に沿った活動	3.26	-0.02
2	機能的な生徒指導態勢	3.24	+0.13
3	機能的な進路指導態勢	3.35	+0.13
4	機能的な保健・安全指導	3.20	+0.01
5	教材の精選や授業の工夫・改善	3.45	+0.08
6	宿題や課題の適切な質と量	3.24	+0.07
7	正確な授業開始	3.55	+0.05
8	私語や居眠り等への指導徹底	3.50	+0.11
9	あいさつ・頭髪等への指導	3.21	-0.01
10	十分な教育相談の実施	3.29	+0.16
11	問題行動の未然防止・早期発見	3.23	+0.17
12	奉仕活動・地域貢献への奨励	2.74	+0.20
13	学年目標に即した指導	3.28	+0.04
14	進路・学力検討会への積極的参加	3.30	-0.11
15	進路関係情報の収集・提供	3.09	-0.08
16	学習の記録・進路ノートの活用	3.15	±0
17	キャリア教育の推進	2.92	-0.17
18	清掃指導の徹底	3.37	+0.09
19	適切な交通安全指導	3.43	+0.26
20	語り込みを通しての指導	3.23	-0.03

【考察】
前年比で項目の12と19が大幅に上昇した一方、14と17が減少している。登校時の立哨指導や交通安全に関する意識啓発を日常的に実施した成果として、交通事故や違反の減少につながっている。全体的に生徒指導に関する項目の充実が確認できるが、キャリア教育に対する取組を早急に推し進める必要がある。